

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.118

2015.8.4

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

戦争はいや！
戦争法案断固反対！

いのちを守るためにみんなでたたかきましょう！

岩手医労連

私たち岩手医労連は、病院や介護施設で働く仲間をつくる労働組合です。私たちは、いのちを守る現場で働くものとして、戦争法案に反対します。

「再び戦争の血で白衣を汚（けが）さない」これは私たち医療労働者の運動の原点です。私たちは、「いのちと健康を破壊する戦争をさせないこと」「核兵器の廃止」を労働組合の運動で重視してきました。戦争が世界のどこでも起きないこと、核兵器が世界中からなくなることを望みます。

憲法は「生きる権利」や「働く権利」を保障するものです。戦争する国になれば、医療や社会保障は後回しです。生きることがないがしろにされて言い訳がありません。働く権利が奪われてはなりません。税金は、医療や社会保障のためにこそ使ってほしいです。私たちの治める税金が軍事費に使われるのは、絶対許せません。

「戦争する国」にするのは、絶対に反対です。

安倍政権は骨太の方針で、社会保障費の自然増部分を年間 5,000 億円削ると打ち出しています。小泉政権時代の 2,200 億円の削減でも、「医療崩壊」や「介護難民」を作り出しました。一方、アメリカから購入するオスプレイ 17 機の値段が 3,700 億円と報道されました。

医療では、医療費が払えず病院にかかることのできない患者さんや、介護施設に入れず、介護を受けたくても受けられない人も沢山います。こういう人たちのいのちを守るために税金を使うのが、当たり前なのではないのでしょうか。

戦争が起きれば、医者や看護師は、真っ先に戦場に駆り出されます。先の戦争では、おおくの私たちの先輩が戦争で命を落としました。戦争に絶対に行ってはなりません。行かせてはなりません。

多くの医者や看護師が戦場に行かされ、負傷した兵士を再び戦場で戻すための医療や看護をしました。しかし、従軍看護婦はこうも証言しています。「戦地に看護などなかった。来る日も来る日も死体を焼いた」と。

私たちは、病気やけがに苦しむ人たちのために、看護をしています。私たちは、お年寄りや子供たちのための看護や介護をすることに誇りを持って働いています。傷ついた兵士を再び戦場へ戻すための看護はしたくありません。

いま、若者が「戦争したくなくてふるえる」とデモを行っています。私たちも、ふるえています。私たちの白衣を、戦場の血で汚さないために、岩手から、全国の医療や介護の仲間とともに大きな声で、訴えていきます。

私たちは、戦争は嫌です。戦争法案に断固反対します。

憲法が活かされ、尊い生命を守ることは私たちの使命です。いのちを守る為に、みんなでたたかきましょう。



釜石復興支援・艦砲震災を訪ねるバスツアー 早乙女勝元さんの講演に感激!

松園9条の会

松園9条の会と医療生協松園支部は、7月11日、「釜石復興支援、艦砲震災を訪ねるバスツアー」を行い25名が参加しました。この情勢もあって、申し込みは募集数の倍くらいあり、参加者をしぼるのに苦労しました。

70年前、米軍による釜石艦砲射撃で二度にわたり970名をこえる犠牲者を出した釜石。「戦争と平和を考える釜石市民のつどい」実行委員会が招く早乙女勝元さんの講演会に合わせて釜石ツアーを企画しました(早乙女勝元さんの講演は花巻、宮古でも行われました)。



早乙女勝元氏講演

震災で流された震災記念館の代わりに「郷土資料館」で砲弾の破片や資料を見学しました。また世界遺産に決まった橋野鉄鉱山高炉のなりたちやしくみを「鉄の歴史館」で学びました。

「つどい」は作家で東京大空襲資料センター館長の早乙女勝元さんが講演しました。早乙女さんは、12歳で遭遇した東京大空襲の体験を語り、記録を残す運動が「一人の行動から始まった」と語りました。「戦争法案は絶対通してはならない。法案の危険な中身をわかりやすく伝え、ひとりひとりの一歩を大切に」と呼びかけました。

参加者は、「早乙女さんのお話に感激。若いころはげまされた小説を思い出しました」(60代女性)、「まず第一歩、足を踏み出すことが心に残りました。松園の署名宣伝に初めて参加しました」(60代女性)、「艦砲戦災うけ生き残った。絶対戦争をしてはならない」(80才男性)と感想を語りました。(松園9条の会ニュースより)



釜石郷土資料館の見学



「国民の理解が進んでいないのも事実だ」(要旨)と、国会委員会で首相が答弁!

国会委員会審議の報道場面を見ていて呆れ返りました。安倍首相とその政権が提出している「安保法案」に対して、安倍首相がこのように答弁しました。そして「強行採決」!

だったら思います。これ以上国会審議を進めてはいけません。一日も早い安倍政権の退陣が必要であると。安倍政権が一日長く続けば、その分だけ「戦争する国」に近づく、これは止めさせなければ国民は不幸になります。このコラム・シリーズで指摘していたように同首相の「エジプト発言」はそのことを予告しておりました。2人の日本人が犠牲になったことを思い出しましょう。

「安保法案」は「戦争法案」、声を大きく、広めましょう。日本は「軍事」を止めて、「平和外交国家」になる以外にないと。日常会話でもどんどん話しましょう!「戦争法案」が立法化されてからでは遅いと思います。

(T)

今月の署名行動 8月の街宣署名行動 2回行います! 9日は場所・時間、ご注意ください!
●8月 9日(日) 11時~12時 盛岡市いわて生協ベルフ青山店入口付近
●8月 19日(水) 12時~12時45分 盛岡市大通野村證券前